

教授 と なり

Personality of Professor

真の職人たれ！

この頃、よく感じるがあります。それは、“真のプロ”、“真の職人”がこの世からどんどんいなくなっていると思います。以前は、どの分野にも“この人に任せておけば大丈夫だ”という“職人”が必ずいました。

数年前に家（所謂新築マンション）を購入したのですが、入居前に我々自身によって部屋の最終チェックを行います。そこで大変驚きました。取り付けられた鏡の角が欠けている、壁紙の継ぎ目がずれている、フローリングのワックスをフローリング上のごみ／埃もろとも塗ってしまっている、な

どなど100項目以上の不具合が見つかったのです。“素人の日曜大工でも、もう少し一生懸命仕事をするだろう。一体、これらは本当にその道の職人によって作られた物なのか？これらの職人は自分自身に恥ずかしくないのか？自分の仕事に誇りを持って楽しく生きているのか？”と思った次第です。こういった類の話は今や、日常茶飯事に行われています。例えば、正確な日本語も話せない女子アナ、学芸会レベルの俳優／女優、食材が何か聞いても答えられないイタ飯屋のウェーター、犯人をろくに検挙できなくなった警察、など（博学でもない大学教授である私も含まれますが）。このように当然のことができない“アマチュア”状態の人たちによって社会が動いているわけですから、社会に色々な問題が生じ、日本の国際競争力が落ちるのは明らかであると思われまます。

学生諸君は今後、社会に出られて色々な職に就くことになります。大学時代の間にもう一度原点に立ち返って、自分自身に“何が一番合っているのか？”、“好きなものは何か？”を問いかけていただきたい。そして、その分野に進まれたならば、誇りを持って“この分野ならば任せてください”と言えるだけの技量を積み、努力を重ねて“真の職人”になってもらいたい（私も“真の職人”を目指してこの年になってしまいましたが、まだまだ修行が足りません）。それが自分の生きがいある人生を送れる基盤にもなるわけですから。

“真の職人”たちが作った日本映画全盛期の痛快時代劇。主演の三船敏郎演じる素浪人が、加山雄三らが演じる熱血若侍とともに、仲代達矢らを敵役にまわして腐敗しきった藩政を立て直す筋書きで、“用心棒”の続編。凄みを感じさせる殺陣、随所に入ったユーモアで観客を飽きさせない。事実、私はもう30回以上このDVDを見ても飽きず、その結果、三船や仲代の台詞は空で言えます（彼らの物まねをして）。

PROFILE

大学では宇宙を知りたくて赤外線天文学を学びましたが、東芝の研究所に就職後は主にLSI用の半導体素子の研究が専門になりました。現在、ナノテクも利用した究極の半導体素子（何が究極なのは定かではありませんが）の実現を目指して奮闘努力中です。

水野智久

MIZUNO Tomohisa
理学部教授

Personal Data

生年月日：1955（昭和30）年5月12日

出身地：岐阜県恵那市

星座：おうし座

血液型：AB型

経歴：名古屋大学理学部物理学科卒業
同大学大学院理学研究科博士後期
課程中退（赤外線天文学）
工学博士

趣味：旅行、特に温泉旅行、イタリアオペラなど音楽鑑賞、ジョギングなど

生来が怠け者のため、普段の休日は、ぼーっと過ごすのが好きです。家の近くの公園をジョギングした後は、ベランダの庭の手入れをして過ごしています。

趣味の旅行から
2005年夏
イタリアドロミテ山脈にて



私のおすすめ

『椿三十郎』

黒澤明 監督 1962年度作品 東宝



“真の職人”たちが作った日本映画全盛期の痛快時代劇。主演の三船敏郎演じる素浪人が、加山雄三らが演じる熱血若侍とともに、仲代達矢らを敵役にまわして腐敗しきった藩政を立て直す筋書きで、“用心棒”の続編。凄みを感じさせる殺陣、随所に入ったユーモアで観客を飽きさせない。事実、私はもう30回以上このDVDを見ても飽きず、その結果、三船や仲代の台詞は空で言えます（彼らの物まねをして）。